

グローバルイノベーターを目指す

国際高等専門学校

International College of Technology, Kanazawa

入学案内 2021

STEAM Education

グローバルイノベーターを目指す
STEAM教育



Design Thinking

ユーザー視点に立った
価値創出の手法

Be Global



Boarding School

自然豊かな
ボーディングスクール



SDGs

世界を変えるための
持続可能な開発目標

Study Abroad

3年では全員が
ニュージーランドへ留学



学校法人金沢工業大学
国際高等専門学校

金沢キャンパス 石川県金沢市久安2-270 Tel.076-248-1080
白山麓キャンパス 石川県白山市瀬戸辰3-1
www.ict-kanazawa.ac.jp



国際高等専門学校が描くグローバルイノベーターは、最新の理工学知識や洞察力を持つだけでなく、創造的な解決策を用いて、新しい価値を生み出す機会を見つけていることができる人材です。それだけでなく、様々な分野の専門家たちと効果的にコラボレーションすることができ、文化や価値観の多様性を尊重し、より良い世界の実現に向け、変革の波を起こすスキルを持つプロフェッショナルでもあります。



国際高等専門学校校長
ルイス・バークスデール

Leaders of Global Innovationを養成

「国際高等専門学校」は、社会全体が大きく変化する中であって、新たな価値を創出し活躍できるグローバルイノベーターの輩出を目的にした、全く新しい高等専門学校です。併設校である金沢工業大学と連携し、STEAM教育を実践します。特に英語での工学基礎・専門基礎を重視すると共に、世界的工学教育CDIOプロセスを導入した豊かな人間力とリーダーシップ力を育成する教育を実施します。先進的な工学教育を実施している金沢工業大学・大学院との一貫教育を行うことで、これからの社会で活躍できる「リーダーの育成」を強力に推進する新たな高等教育システムの構築を目指しています。

さらに、学年が進むにつれて教育環境を変えることで、より複雑な課題に取り組めるようにします。1、2年を過ごす全寮制の白山麓キャンパスでは、白山の豊かな自然の中で、地域社会や産業界とも協力し、国連が定めたSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) を目指すプロジェクトも取り入れます。3年ではニュージーランド留学、4、5年では金沢キャンパスと、最適な場所で最大の成果を生む教育に尽力します。

国際高専は、国内外から幅広く学生を求めています。グローバルな環境で、様々な刺激を受けながら成長できる舞台です。国際高専のイノベーションにご期待ください。

国際理工学科 Department of Science and Technology

持続可能な未来社会の創造へつながる成長分野を学ぶ

経済・産業のグローバル化、少子高齢化と労働人口の減少、環境問題など、複雑かつ多様な課題により先行き不透明な現代社会においては、課題解決に向けた創造的な解決策、イノベーションが期待されています。このような社会の要求をふまえ、国際理工学科では、課題の発見と解決を目的とするデザイン力を身につけ、AIやIoT、ロボティクスなどの成長分野に関するソフトウェアとハードウェアの基礎的な専門技術と知識を幅広く学び、持続可能な未来社会を創造する理工系人材の育成を目指しています。



学び、創ることを楽しもう

国際理工学科 科長
松下 臣仁 教授

カリキュラムの中核となる「エンジニアリングデザイン教育」では、デザインシンキングをベースに価値創成を目指す課題発見解決型の活動にチームで取り組みます。ユーザーへの共感を深めながら課題を見定め、課題解決のためのアイデアをカタチにしていきます。そのために必要となるモノ・コトづくり、ITやデータ活用のための能力を養うと同時に、社会・環境における科学技術の役割にも着目した、技術者としての倫理観を育みます。失敗することを恐れずに、仲間たちと共に様々な試みに挑戦し、学び、創ることを楽しんでいきましょう。



国際高専の学び

Education of ICT

国際高等専門学校(5年間)と、金沢工業大学の学部及び大学院(4年間)の9年一貫教育により、
「グローバルイノベーターの育成」を強力に推進します。
学年が進むにつれて教育環境を変え、より複雑な課題に取り組むことができます。

1・2年

- 全寮制スクールで多様性を学ぶ
- English STEM教育
- 英語でデザインシンキング

白山麓キャンパス 英語で基礎力を身につける

全寮制の白山麓キャンパスで全人教育



3年

- 海外生活でさらに英語を磨く
- 興味ある専門科目を学ぶ
- インターンシップやプロジェクト

ニュージーランド 世界中から集まる学生と共に学ぶ

国立オタゴポリテクニクに1年間留学



4・5年

- 金沢工業大学と連携
- 自主的なプロジェクト活動
- 世代・分野・文化を超えた共創教育

金沢キャンパス スキルを生かして専門分野を深める

大学生と共にクラスター研究室等で学修・研究を实践



大学編入

- 金沢工業大学3年次へ編入
- 最先端のイノベーションプロジェクト
- さらなる研究開発の場を求めて大学院へ

金沢工業大学学部・大学院 真のグローバルイノベーターを目指す

大学学部編入、大学院進学で専門性をさらに深める



エンジニアリングデザイン教育

Engineering Design Education

国際高専オリジナルのエンジニアリングデザイン教育は、本校教育の中心軸となるものです。

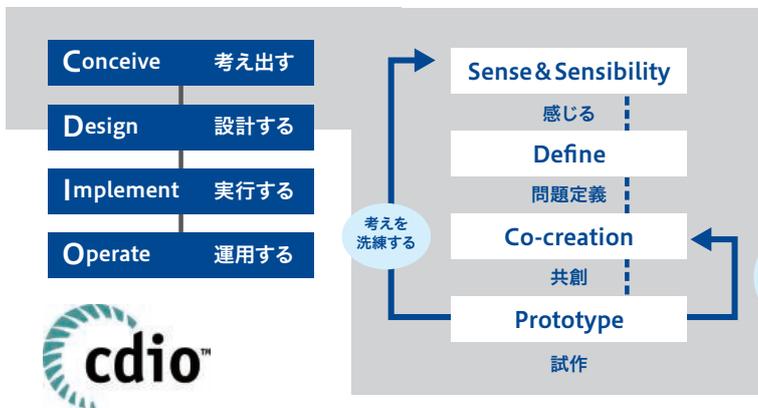
- ・モノづくり基礎・実技
- ・コトづくり基礎・実技
- ・コンピュータ基礎演習
- ・デザイン思考による問題発見
- ・解決型プロセス演習
- ・グループ討議法
- ・技術者倫理

等の基本スキルを基盤として、単純なものから複雑なものへ、さらには、地域との連携、企業との連携による問題発見・解決プロセスの実践により、理工学的思考力の向上を図ります。



世界標準の工学教育「CDIO」+ デザインシンキング

国際高専は、日本の高等教育機関で初めて世界標準の工学教育を推進するCDIOイニシアチブに加盟しました。CDIOは、Conceive(考え出す)、Design(設計する)、Implement(実行する)、Operate(運用する)の頭文字。MIT、スタンフォード大学など140を超える高等教育機関が参加し、「工学の基盤知識となるサイエンス」と「実践・スキル」のバランスを重視した、質の高い工学教育の実現を目指しています。「エンジニアリングデザイン」では、さらにユーザー視点に立った価値創出の手法である「デザインシンキング」を取り入れ、新たな価値の創出を目指す課題発見・解決型の活動にチームで取り組みます。



CDIOのうちConceive(考え出す)およびDesign(設計する)をより強化するためグループワークによるアイデアの創発・統合など「デザインシンキング」の手法を取り入れています。「デザインシンキング」とはユーザー像を想定し、そのユーザーにとって何が問題で、何が必要なのかを考えアイデアを創出し、まとめたアイデアを具体化し、実験・実証などによってアイデアをさらにブラッシュアップしていく手法の一つです。

Voice

やりたいことを自由に
取り組める

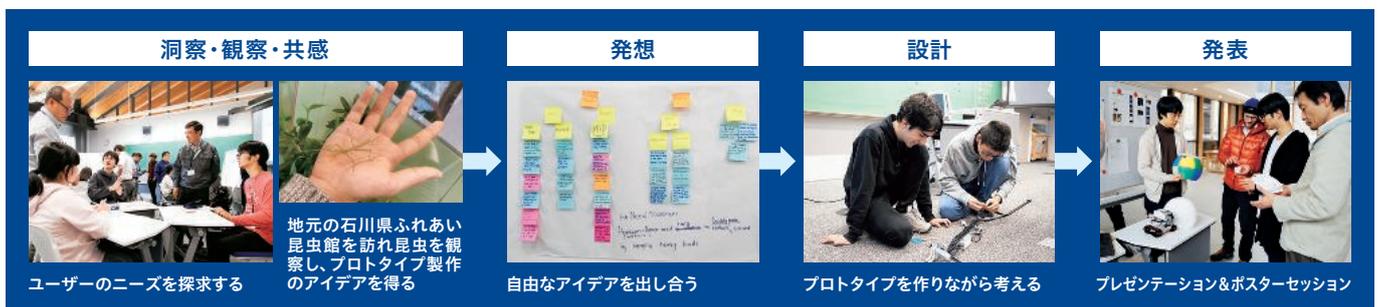


2年 佐藤 俊太郎さん
大田区立 矢口中学校(東京都)出身

小学6年から中学3年までマレーシアに留学していました。いろいろなづくりにチャレンジできるのが国際高専の魅力です。エンジニアリングデザインでは、高齢者が身につけて手助けとなる装置を作る課題に取り組みました。個人的にはキャンパス内にある温泉施設で使うコースターを作りました。デザインから考えて、学校のレーザー加工機を使用しました。とても喜んでもらえて嬉しかったです。部活動でロボコンにも挑戦しています。やりたいことがありすぎて、忙しい毎日を送っています。



エンジニアリングデザインの実践例 Bio-mimicry(生物模倣)を利用して大人を驚かす玩具を製作する



STEAM教育

STEAM Education

2000年代に米国で始まった科学技術の新しい教育モデル「STEM教育」は、S=Science(科学)、T=Technology(技術)、E=Engineering(工学)、M=Mathematics(数学)を統合して学ぶ教育のことです。現在では、A=Art(芸術)を加えた「STEAM教育」が注目されています。

国際高専では教育の柱のひとつとして英語での「STEM教育」を推進しています。さらに、エンジニアリングデザイン教育や課外活動プログラムの中で、先の科目群が示す知識がどのように生かされ、使われているかを理解し、知識やスキルが統合化されることを目指しています。



英語で学ぶサイエンス&テクノロジー

英語で科学、技術、工学、数学を統合的に学ぶSTEM教育を実施し、理工学的思考力を身につけます。1年は主に外国人教員と日本人教員のチームティーチングで授業が行われます。また、ブリッジングリッシュの授業では、理工系分野における英語の専門用語を学びます。4・5年では、金沢工業大学と連携したより高いレベルでの「STEM教育」に取り組みます。



発想力・表現力を育む芸術科目

パフォーマンスアートやビジュアルアートでは、グローバル社会を生き抜くための教養として、芸術や文化は幅広い視野でものごとを捉えるための感性や洞察力を磨き、豊かな想像力や表現力を養います。様々な専門分野、多様な文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションの幅を広げ、協働性を高める力を身につけます。



Voice

いろいろなプロジェクトに挑戦できる

白山麓キャンパスでは、友だちと協力しながら宿題をこなしたり、課題に取り組んだり、充実した2年間を過ごしました。外国人の先生方はフレンドリーでいろいろな話を聞かせてくれます。もともと英語は得意な方でしたが、日常的に英語の中で生活しているので、聞く方も話す方も上達したと思います。地域の人たちや海外の人たちと関わったり、様々なプロジェクトに参加したりしたことも貴重な経験になりました。



3年
鷺島 悠人さん
広尾学園中学校(東京都)出身



3年 ニュージーランド留学で実践

3年では全員がニュージーランド・ダニーデン市にある国立オタゴポリテクニクへ留学し、世界中から若者が集まる環境で学びます。現地での生活は地元の家庭にホームステイします。企業でのインターンやプロジェクト活動など様々なプログラムが用意されています。



KIT(金沢工業大学)とICTの連携

Collaboration with KIT

世代・分野・文化を超えた共創教育

4年・5年では金沢工業大学の学生と連携したクラスター研究やプロジェクト活動を行います。

金沢工業大学はプロジェクトデザイン教育を軸として「世代・分野・文化を超えた共創教育」を実践しています。世界の舞台で活躍できる能力を育む「アクティブでオープンな夢考房キャンパス」を実現し、学生はそれぞれの夢やビジョンの実現を目指してアクティブに知的創造活動に取り組みます。

ICT卒業後は金沢工業大学3年次に編入、さらに大学院へ進み、高度な研究環境で最先端のイノベーションプロジェクトに取り組むことができます。



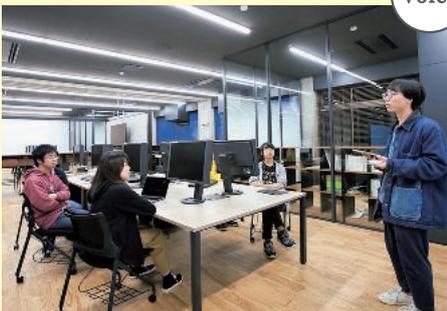
高専・大学連携クラスター研究室での研究風景



Voice

大学生に刺激を受けながら卒業研究を完成

学科の枠を超えて卒業研究に取り組む「高専・大学連携クラスター研究室」は金沢工業大学のクラスター研究室と連携し、高専生と大学生が共に学び合いながら研究活動を行います。私の卒業研究のテーマは「白山麓におけるトークンエコノミーのシミュレーター作成」。トークンエコノミー(代用貨幣を用いた経済圏)が実装されたときにどのような影響が出るのかシミュレートする研究です。大学生のメンバーには自分より知識がある人もいて、触発されることもありました。高専生が大学生と一緒に学んで、その後に大学や大学院に進むことができるのは国際高専ならではの強みだと思います。



卒業生(金沢工業大学3年)
福田 一之さん



課外活動

地域に
飛び出す!

国際高専では、学生が自主的・主体的に多彩なチーム活動を行っています。

1・2年で寮生活をおくる白山麓キャンパスには、ネイチャー&アドベンチャークラブ、ランゲージ&カルチャークラブ、デザイン&ファブリケーションクラブの3つのクラブがあります。

■ **ネイチャー&アドベンチャークラブ**
キャンプや山登りなど自然の中で活動。

■ **ランゲージ&カルチャークラブ**
様々な文化について学ぶクラブです。

■ **デザイン&ファブリケーションクラブ**
各種モノづくりコンテストやデザイン活動に挑戦。

その他、地域の皆さんと一緒にイベントを企画したり、ボランティアに参加したり、白山麓の地域性を生かした課外活動をたくさん行っています。



コンテストに
挑戦!



白山麓の
自然を満喫!



特別授業

アートやAI、バイオテクノロジーなど様々な分野で活躍するプロフェッショナルや金沢工業大学の教員が授業を行います。課外活動期間などを利用して第一線で活躍しているプロフェッショナルの方々に講師に招いて最先端テクノロジーを学んだり、芸術に触れる機会を設けています。



★夜の学校

白山麓キャンパスでは、月曜日～金曜日の19:30～21:30には、ラーニングセッションが行われます。学習内容の確実な定着と、次回授業に積極的に参加する上での重要な全学生必修の課外学習です。担当教員はいますが、教室における授業の延長ではなく、学生同士がチームで学び合い、教え合うことを教員がサポートする形式です。授業が英語で行われていることから、英語のサポートも習熟度に合わせて行います。



Dormitory (学生寮)



1・2年で共同生活を送る学生寮は1ユニットに6人が生活します。6人それぞれがユニット内での役割を果たし、グローバル社会を生きる健やかで豊かな人間性を育みます。



Golden Eagle Cafeteria



食事は朝・昼・夜+夜食(軽食)を提供しています。食事はセルフサービスのカフェテリア方式。メニューは日替わりで洋食から和食、エスニックまで世界各国のさまざまな料理があり、食文化の多様性が体験できます。



Morning



Lunch



Dinner

学生の一日

One day in Hakusanroku Campus

7:30

朝食



食事はGolden Eagle Cafeteriaで。

8:30

登校



渡り廊下を通り、学生寮から校舎へ。

8:40 - 10:20

1限目

10:30 - 12:10

2限目

12:10

昼食

13:00 - 14:40

3限目

14:50 - 16:30

4限目

16:30

Free Time

18:30

夕食

19:30 - 21:30

夜の学校
(ラーニングセッション)



学生が主体的に行動する「アクティブ・ラーニング」がすべての授業で行われています。



学生同士で教え合うことも。

21:30

Free Time

23:00

消灯



学生は併設の温泉施設を無料で利用できます。



それぞれやりたいことをして過ごす時間。ジムでのトレーニングやスポーツ、ボードゲームなどを楽しむことも。

Hakusanroku Journal 白山麓ジャーナル

随時更新中

白山麓キャンパスでの出来事を Journal 形式で紹介しています。ぜひご覧下さい。



白山麓キャンパス

Hakusanroku Campus

1・2年で過ごす全寮制の白山麓キャンパスは
 学生が教員、スタッフと生活を共にしながら学習や課外活動に取り組む「ボーディングスクール」です。
 夜も課外活動の時間として夜の学校(ラーニングセッション)が行われています。

**KIT
 イノベーションハブ**
 地域連携・産学連携・
 教育研究・研修の場
**金沢工業大学
 地方創生研究所**

エネルギーセンター
 キャンパスマイクログリッド化エネ
 ルギーマネジメント実証実験の場

国際高専学生寮

温泉施設
 地域の方々にも開放

国際高専校舎

国際高専体育館

最先端の
 研究が
 間近に

金沢工業大学地方創生研究所

再生可能エネルギーによる地産地消を目指しています。地元産木材チップを使ったバイオマスボイラによる電気利用の実験を行っています。

産学連携にて研究用いちご圃場を設置。5Gをはじめとした科学技術による農業イノベーションを共創。温室効果ガスフリーのいちご栽培技術で新たな地方創生モデルの構築を目指します。

自然とコミュニケーションが生まれる



Living Commons

クリエイティブな学習環境



Computer Lab



Laboratory



Maker Studio



浮かんだアイデアをプロトタイプ(試作品)としてすぐに制作し、発表できる。仲間同士で批評し合おう!

学習や活発な交流の場



Library and Work Commons



Gymnasium (体育館)



明かりが差し込む広々とした体育館は体育の授業や地域との交流行事等にも活用。2階にはトレーニングルームがあります。

ICTリーダーシップアワード奨学生制度

ICTは「誰一人取り残さない」世界の実現に向けて
イノベーションにチャレンジする学生を支援します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(Sustainable Development Goals)は、「誰一人取り残さない」という理念のもとに、国連全加盟国が合意した、世界を変えるための17の目標のことで、ICT(国際高等専門学校)では併設校のKIT(金沢工業大学)と連携して、このSDGs達成に貢献するため、身近な社会課題と地球規模課題を結びつけた社会実装型の教育研究プロジェクトを推進します。この教育研究プロジェクトにおいて、卓越したリーダーシップを発揮する学生を支援するのがICTリーダーシップアワード奨学生制度です。



※KITは、2017年12月26日に第1回「ジャパンSDGsアワード」SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞を受賞した、日本を代表するSDGs推進高等教育機関です。

ICTではグローバルイノベーターの養成を目指し、4種の「ICTリーダーシップアワード奨学生制度」を設け、多様な活動においてリーダーシップを発揮し得る人材を支援します。

1 Golden Eagle奨学金

概要：持続可能な社会の理解を深めるとともに社会的課題を発見し、その課題に主体的に取り組み、リーダーシップを発揮し得る学生に支給します。

定員：2名

評価基準：1年～2年までの2年間の取り組みおよび2年間の成績
SDGsスタートアッププログラム参加
積極的なリーダーシップ、自己成長の学内外への発信

給付金額：140万円

2 CWIE 海外コーオプ教育奨学金

概要：CWIE^{※1}(産学連携教育)に基づく海外企業でのインターンシップや国際会議への参加など海外コーオプ教育に取り組む学生に支給します。

定員：2名

評価基準：前年度までの成績、CWIEの理解
海外企業での課題と就業体験への取り組み

給付金額：30万円

※1 Cooperative and Work-Integrated Education for Innovation Minds

3 Gold奨学金

概要：学内外での多様な活動において、積極的なリーダーシップを発揮し、他の模範となった学生に支給します。

定員：5名

評価基準：各学年ごとに1年間の取り組みを評価
全受講科目の成績、学内外の多様な活動
積極的なリーダーシップ、自己成長の学内外への発信

給付金額：30万円

4 Silver奨学金

概要：学内外での多様な活動において、積極的なリーダーシップを発揮し、他の模範となった学生に支給します。

定員：5名

評価基準：各学年ごとに1年間の取り組みを評価
全受講科目の成績、学内外の多様な活動
積極的なリーダーシップ、自己成長の学内外への発信

給付金額：25万円

給付方法

Golden Eagle奨学金	ニュージーランド国立オタゴポリテクニク留学時の授業料の一部として取り扱います。
Gold奨学金／Silver奨学金	次年度の授業料及び金沢工業大学編入時の授業料の一部として取り扱います。
CWIE海外コーオプ教育奨学金	海外コーオプ教育先の授業料の一部として取り扱います。

1. Golden Eagle奨学金とGold奨学金又はSilver奨学金は同時に給付を受けることも可能です。
2. CWIE海外コーオプ教育奨学金はGold奨学金又はSilver奨学金と同時に給付を受けることも可能です。
3. Gold奨学金とSilver奨学金は同時に給付を受けることはできません。
4. CWIE海外コーオプ教育奨学金はコーオププロジェクト履修学生が対象です。

国際高等専門学校 (International College of Technology, Kanazawa)

募集学科及び入学定員

国際理工学科 (Department of Science and Technology) 定員：45名

入学試験日程

	出願受付期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
グローバル入試	2020年6月15日(月)～10月8日(木)	個別に指定	個別に指定 (日本国内及び海外)	個別に指定	個別に指定
帰国生入試	2020年11月9日(月)～11月19日(木)	2020年12月5日(土)	金沢、東京、大阪	2020年12月10日(木) 15時	2020年12月22日(火)
一般入試A	2021年1月7日(木)～1月14日(木)	2021年1月23日(土)	金沢、東京、大阪	2021年2月4日(木) 15時	2021年2月18日(木)
一般入試B	2021年1月26日(火)～2月5日(金)	2021年2月13日(土)	金沢、東京、大阪	2021年2月18日(木) 15時	2021年3月4日(木)
自己推薦入試	2021年1月26日(火)～2月5日(金)	2021年2月13日(土)	金沢、東京、大阪	2021年2月18日(木) 15時	2021年3月4日(木)

・グローバル入試に出願される方は、出願前に必ずお問い合わせください。

検定料 15,000円

入学金 200,000円

授業料等の納入金

(1) 授業料

	前学期	後学期	年 額	備考欄
1年	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円	全寮制 ・学費 [年額] 1,516,000円(夜間授業等を含む) ・教材等一式 [年額] 308,000円(教科書、補助教材、パソコン、トレーニングウェア等を含む) ・寮費 [年額] 1,176,000円(食事300日分、部屋代、光熱費、掃除費、リネン代等を含む)
2年	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円	
3年	125,000円	125,000円	250,000円	
4年	800,000円	800,000円	1,600,000円	
5年	800,000円	800,000円	1,600,000円	

* 1年生から3年生は「文部科学省高等学校等就学支援金制度」の対象です。

* 4年生及び5年生は「文部科学省高等教育の修学支援新制度」の対象です。

* 4年生及び5年生の授業料には、寮費(食事付)は含まれていません。

(2) 3年生ニュージーランド国立オタゴポリテクニク留学に係る費用(授業料等)

(2022年度参考 為替レートは、NZ\$1.00 = ¥90.00で算出してあります)

	年 額	備考欄
3年生 国立オタゴポリテクニク 授業料	1,700,000円	①授業料は、ニュージーランド政府の規則に従ってオタゴポリテクニクが2022年12月に決定する授業料とします。 ②オタゴポリテクニク授業料は、2022年12月に全額一括納入とします。
ホームステイ費用等	1,050,000円	①ホームステイ費用 ②課外活動費、疾病・傷害・損害賠償等の保険料 上記費用は、2022年12月に全額一括納入とします

※留学に係る費用には渡航費用は含まれていませんので、別途必要になります

(3) 上記以外の委託徴収会費(年額)

育友会費(保護者会費) 20,400円、学生会費 9,600円、同窓会費 6,000円

出願に関する詳細については、ウェブサイトを必ずご確認ください。

2年 2nd Year

1年 1st Year

修得最低単位数 38単位

Minimum Credit Requirement : 38 credits

修得最低単位数 38単位

Minimum Credit Requirement : 38 credits

後学期 2nd Semester

前学期 1st Semester

後学期 2nd Semester

前学期 1st Semester

特別活動 ESDII(地域プロジェクト)

Special Activities ESDII (Education for Sustainable Development)

特別活動 ESDI(地域プロジェクト)

Special Activities ESDI (Education for Sustainable Development)

特別活動

Special Activities

国語表現II B Japanese Language Expression IIB (1)	国語表現II A Japanese Language Expression IIA (1)
英語表現II B English Expression IIB (1)	英語表現II A English Expression IIA (1)

文学II Japanese Literature II (1)	
世界文学II World Literature II (1)	

歴史文化II B History and Culture IIB (1)	歴史文化II A History and Culture IIA (1)
歴史文化(英語)II B History and Culture (English) IIB (1)	歴史文化(英語)II A History and Culture (English) IIA (1)

保健体育II B Health and Physical Education IIB (1)	保健体育II A Health and Physical Education IIA (1)
---	---

ビジュアルアーツII Visual Arts II (1)
パフォーマンスアーツII Performing Arts II (1)

国語表現IB Japanese Language Expression IB (1)	国語表現IA Japanese Language Expression IA (1)
英語表現IB English Expression IB (1)	英語表現IA English Expression IA (1)

文学I Japanese Literature I (1)	
世界文学I World Literature I (1)	

歴史文化IB History and Culture IB (1)	歴史文化IA History and Culture IA (1)
歴史文化(英語)IB History and Culture (English) IB (1)	歴史文化(英語)IA History and Culture (English) IA (1)

保健体育IB Health and Physical Education IB (1)	保健体育IA Health and Physical Education IA (1)
--	--

ビジュアルアーツI Visual Arts I (1)
パフォーマンスアーツI Performing Arts I (1)

人文科学
Humanities

保健体育・他
Health and Physical Education

リーディング・ライティングII B English Reading and Writing IIB (1)	リーディング・ライティングII A English Reading and Writing IIA (1)
--	--

日本語コミュニケーション Japanese Communication (3)	日本語II Japanese II (2)
--	--------------------------

リスニング・スピーキングII B English Listening and Speaking IIB (2)	リスニング・スピーキングII A English Listening and Speaking IIA (1)
--	--

海外英語研修 Overseas English Program (4)
--

リーディング・ライティングIB English Reading and Writing IB (1)	リーディング・ライティングIA English Reading and Writing IA (1)
---	---

日本語IB Japanese IB (2)	日本語IA Japanese IA (5)
--------------------------	--------------------------

リスニング・スピーキングIB English Listening and Speaking IB (1)	リスニング・スピーキングIA English Listening and Speaking IA (2)
---	---

ブリッジングリッシュ Bridge English (2)

第二言語
Second Language

微分・積分B Calculus B (2)	微分・積分A Calculus A (2)
--------------------------	--------------------------

代数・幾何学B Algebra and Geometry B (2)	代数・幾何学A Algebra and Geometry A (2)
---------------------------------------	---------------------------------------

物理II B Physics IIB (2)	物理II A Physics IIA (2)
---------------------------	---------------------------

化学II B Chemistry IIB (2)	化学II A Chemistry IIA (2)
-----------------------------	-----------------------------

生物II B Biology IIB (1)	生物II A Biology IIA (1)
---------------------------	---------------------------

解析基礎B PreCalculus B (2)	解析基礎A PreCalculus A (2)
----------------------------	----------------------------

基礎数学B Fundamental Mathematics B (2)	基礎数学A Fundamental Mathematics A (2)
--	--

物理IB Physics IB (2)	物理IA Physics IA (1)
------------------------	------------------------

化学IB Chemistry IB (2)	化学IA Chemistry IA (1)
--------------------------	--------------------------

生物IB Biology IB (1)	生物IA Biology IA (1)
------------------------	------------------------

自然科学
Natural Science

エンジニアリングデザインII B Engineering Design IIB (2)	エンジニアリングデザインII A Engineering Design IIA (2)
--	--

エンジニアリングコンテキストII B Engineering Context IIB (1)	エンジニアリングコンテキストII A Engineering Context IIA (1)
---	---

エンジニアリングデザインIB Engineering Design IB (2)	エンジニアリングデザインIA Engineering Design IA (2)
---	---

エンジニアリングコンテキストIB Engineering Context IB (1)	エンジニアリングコンテキストIA Engineering Context IA (1)
--	--

共創科目
Co-creation

コンピュータスキルズII B Computer Skills IIB (1)	コンピュータスキルズII A Computer Skills IIA (1)
---	---

コンピュータスキルズIB Computer Skills IB (1)	コンピュータスキルズIA Computer Skills IA (1)
--	--

ITリテラシー
IT Literacy

English STEM教育科目 English STEM Education Courses

※赤字の科目は海外からの入学者や日本語の修得が不十分な帰国生、留学生対象の科目です。人文社会科目では、主に英語表現や文化歴史の科目を英語で学び、第二言語では、日本語の修得をめざします。

The courses in red are for international students and Japanese returnees whose English is stronger than their Japanese. For such students, language arts and humanities courses are offered in English, and Japanese as a foreign language is offered in place of English language courses.

教養科目

General Education Courses

専門科目

Specialized Courses

必修科目(単位)
Required Courses (credit)

選択科目(単位)
Elective Courses (credit)

English STEM教育科目
English STEM Education Courses

Curriculum Pick Up

パフォーマンスアーツI・II Performing Arts I, II 1年(1st Year) 2年(2nd Year)

表現力養成のために、発声、呼吸法、話し方、台詞練習、演技、ダンスなどの練習を行い音楽、演劇、舞踊などの芸術の世界に親しみます。美術、工芸、デザインなどにも触れ、芸術分野の知識を深めるとともに感性を高め、芸術による活動を通し、発想力・表現力を養います。

Students develop good expression skills through practicing pronunciation, breathing techniques, speaking techniques, making speeches, acting, dancing, and becoming familiar with the world of music, drama, and dance. We also cover art, craft, and design, to increase students' sensitivity, deepen their knowledge in art, and cultivate their inspiration and expression.

ブリッジイングリッシュ Bridge English 1年(1st Year)

英語で数学、科学、工学の科目を学習することに戸惑わないように、また、授業への理解を深めるために行われる準備授業のことで、数学、科学、工学を英語で学ぶ際に必要となる語彙や表現方法を学習します。

At ICT, mathematics, science and engineering are taught in English. The Bridge English lessons are designed to help students understand their classes; they will be taught useful terminology and expressions.

グローバルスタディーズ Global Studies 3年(3rd Year)

1年間のニュージーランド留学を充実したものにするために必要な英語力や異文化理解、他者への尊敬と思いやりの気持ちを養います。現地の地理的、文化的な様子やキャンパスでのアクティビティについて理解を深めます。

In order for students to fully benefit from their academic year in New Zealand, we provide a course to further strengthen English for overseas study and foster understanding and respect toward other cultures. Students understand the local geography, culture, and activities of the area.

ファンクショナルイングリッシュ Functional English 3年(3rd Year)

ニュージーランドでの生活や現地授業において、順調に過ごすために必要なスキルを身につけます。英語独特の話し方を学び、日々の生活の中で、各自が効果的にコミュニケーションを図れるようにしていきます。異文化環境の中で順応しながら、慣れ親しんだ状況、またそうでない状況においても、他者を理解し自分の意見や考えを表現できるようにしていきます。チームで協働し、コミュニケーション力、交渉力、考えを発展させる力を身に付け、多文化チームプロジェクトにおいても協力し合うことを学びます。

Students will learn the necessary skills to live a smooth life in New Zealand. They will learn the characteristics of spoken English and how to effectively communicate in their everyday life. The ability to adapt to a foreign environment and communicate their thoughts and feelings in familiar/unfamiliar circumstances will improve their skills in teamwork, communication, negotiation, cognitive thinking, and cooperating in a multi-cultural team project.

エンジニアリングデザインIII Engineering Design III 3年(3rd Year)

技術的、工学的知識を総合的に理解します。自分たちが選んだ分野で、教員や学生たちと協議を重ねながら設計概要をまとめ、それに沿った製作活動、システム作成を行います。製作目的や製作過程の説明文書を作成するとともに、プロトタイプ、コンピューターモデル、コンピューターシステム制作を行います。さまざまなプレゼンテーション技術を用い、プロジェクトの成果を学生、教員または企業の方々に英語で発表を行います。

Students will gain an integrated knowledge of technology and engineering. Through repeated discussions with instructors and team members they choose and define a project area and prepare a design. This is followed by the production process and system creation. Students prepare reports on the purpose and manufacturing process of the project while building actual prototypes, computer models, and/or computer systems. The outcomes of these projects are presented to other students, teachers, and corporations in various formats using English.

工学基礎実技 Engineering Practice 3年(3rd Year)

CAD、3Dモデリングなどを用いて数学や物理の知識を実際に応用していくことを学びます。Students learn to apply their knowledge in mathematics and physics through practice with CAD and 3D modeling.

3年 3rd Year

修得最低単位数 28単位
Minimum Credit Requirement : 28 credits

ニュージーランド留学 Study in New Zealand

企業インターンシップ/企業プロジェクト
Internship at Company / Project with Company

グローバルスタディーズ Global Studies (2)	人文科学 Humanities	教養科目 General Education Courses
生活と文化 Global Life and Culture (4)		
ファンクショナルイングリッシュ Functional English (3)	第二言語 Second Language	専門科目 Specialized Courses
テクニカルイングリッシュ Engineering Communication (4)		
エンジニアリングデザインIII Engineering Design III (8)	共創科目 Co-creation	専門科目 Specialized Courses
工学基礎実技 Engineering Practice (3)		
数理工学 Engineering Mathematics (4)	専門領域 Specialized Field	専門科目 Specialized Courses
プログラミング基礎 Programming 1 (4)		
コンピュータ工学基礎 Engineering Computing (4)		
電子工学 Electronic Principles (4)		
工業力学 Engineering Mechanics (4)		
材料科学 Material Science (4)		



ニュージーランド国立オタゴポリテクニク Otago Polytechnic in New Zealand

5年 5th Year

修得最低単位数 24単位
Minimum Credit Requirement : 24 credits

4年 4th Year

修得最低単位数 39単位
Minimum Credit Requirement : 39 credits

後学期 2nd Semester		前学期 1st Semester		後学期 2nd Semester		前学期 1st Semester			
特別活動 Special Activities		人間と自然Ⅱ Humanity and Nature II		特別活動 Special Activities		人間と自然Ⅰ Humanity and Nature I		特別活動 Special Activities	
		インターンシップⅡ Internship II (1)		アントレプレナーシップ Entrepreneurship (1)		インターンシップⅠ Internship I (1)		インターンシップ Internship	
		心理学 Psychology (2)		人文科学 Humanities (2)		アカデミックライティング Academic Writing (1)		人文科学 Humanities	
				保健体育ⅢB Health and Physical Education III B (1)		保健体育ⅢA Health and Physical Education III A (1)		保健体育・他 Health and Physical Education	
総合英語ⅡB Comprehensive English IIB (1)		総合英語ⅡA Comprehensive English IIA (1)		総合英語ⅠB Comprehensive English IB (1)		総合英語ⅠA Comprehensive English IA (1)		第二言語 Second Language	
						テクニカルコミュニケーション Technical Communication (2)			
						数理統計 Mathematical Statistics (2)		自然科学 Natural Science	
エンジニアリングデザインⅤB Engineering Design V B (2)		エンジニアリングデザインⅤA Engineering Design V A (2)		エンジニアリングデザインⅣB Engineering Design IV B (2)		エンジニアリングデザインⅣA Engineering Design IV A (2)		共創科目 Co-creation	
				AI基礎 AI Fundamentals (1)				ITリテラシー IT Literacy	
応用物理Ⅱ Applied Physics II (2)		応用物理Ⅰ Applied Physics I (2)		数理Ⅱ Integrated Math and Sci. for Engineering II (4)		数理Ⅰ Integrated Math and Sci. for Engineering I (4)		工学基礎 Basic Engineering	
応用化学ⅡB Applied Chemistry IIB (2)		制御数学 Engineering Mathematics (2)		応用数学Ⅱ Applied Mathematics II (2)		応用数学Ⅰ Applied Mathematics I (2)			
応用生物Ⅱ Applied Biology II (2)		応用化学ⅡA Applied Chemistry IIA (2)		応用化学ⅠB Applied Chemistry IB (2)		応用化学ⅠA Applied Chemistry IA (2)			
				応用生物Ⅰ Applied Biology I (2)					
English STEM教育科目 English STEM Education Courses									
材料力学Ⅱ Mechanics of Materials II (2)		情報数学Ⅲ Information Mathematics III (2)		情報数学Ⅱ Information Mathematics II (2)		情報数学Ⅰ Information Mathematics I (2)		専門領域 Specialized Field	
計測工学 Measurement Engineering (2)		データベース Database (2)		コンピュータシステムB Computer System B (2)		コンピュータシステムA Computer System A (2)			
制御工学 Control Engineering (2)		ソフトウェア工学演習 Software Engineering Lab (2)		ソフトウェア工学 Software Engineering (2)		データ構造とアルゴリズム Data Structures and Algorithms (2)			
電子回路 Electronic Circuits (2)		企業会計 Business Accounting (2)		コンピュータアーキテクチャ Computer Architecture (2)		ビジネス概論 Introduction to Management (2)			
電気電子計測工学 Electrical and Electronic Instrumentation Engineering (2)		材料力学Ⅰ Mechanics of Materials I (2)		電気回路Ⅱ Electric Circuits II (2)		機械工作 Machining (2)			
応用化学実験・演習B Applied Experiment and Practice in Chemistry B (3)		プログラミングA Programming A (2)		電気磁気学B Electromagnetics B (2)		機械製図 Technical Drawing (2)			
高分子化学 Polymer Chemistry (2)		電気電子機器 Electrical Machinery and Electronic Applications (2)		化学工学 Chemical Engineering (2)		電気回路Ⅰ Electric Circuits I (4)			
コーオプロジェクト Coop Project (8)		応用化学実験・演習A Applied Experiment and Practice in Chemistry A (3)		分析化学 Analytical Chemistry (2)		電気磁気学A Electromagnetics A (4)			
オペレーティングシステム Operating System (2)		メディア情報 Media Informatics (2)		プログラミング演習B Programming Lab B (2)		化学と安全 Fundamental of Laboratory Safety (2)			
ネットワークシステム演習 Network Systems Lab (2)		熱工学 Thermal Engineering (2)		機械要素設計 Design of Machine Element (2)		物質の状態と反応 Chemistry of Phase and Reaction (2)			
ビジネス特論 Advanced Topics in Business (2)		材料工学 Materials Engineering (2)		熱力学 Thermodynamics (2)		プログラミング演習A Programming Lab A (2)			
電子回路基礎 Basic Electronic Circuits (2)		電気電子材料 Electric and Electronic Materials Engineering (2)		流体力学 Fluid Mechanics (2)		ロボット基礎力学 Robot Mechanics (2)			
プログラミングB Programming B (2)		環境化学 Environmental Chemistry (2)		電気製図 Drawing Skills in Electrical Engineering (1)					
物性工学 Physical Electronics (2)				エネルギー電気化学 Electrochemistry for Energy Conversion and Storage (2)					
過渡現象 Transient Phenomena (2)									

教養科目

General Education Courses

専門科目

Specialized Courses

必修科目(単位)
Required Courses (credit)

選択科目(単位)
Elective Courses (credit)

English STEM教育科目
English STEM Education Courses

選択必修科目(単位)
Compulsory Elective Courses (credit)

※履修希望人数が少ない場合は、開講しないことがあります。
* If the number of registered students is small, the subject may not be opened.

グローバルイノベーターを目指す15歳からの高等教育システム

5+4の9年間一貫教育

国際高等専門学校 金沢工業大学

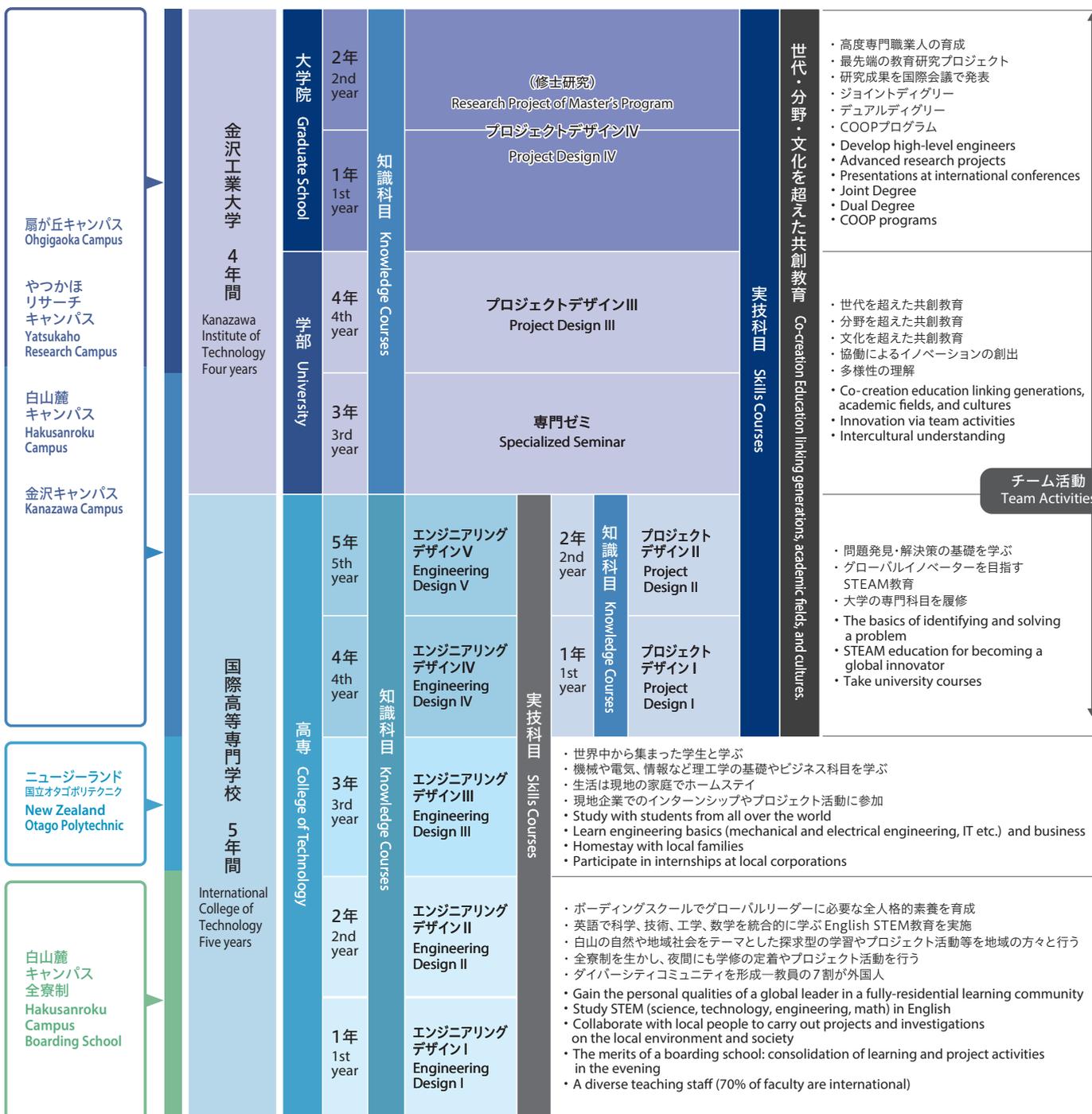
Start at age 15 to become a Global Innovator

"5+4," an Integrated 9-year School System

グローバルイノベーターとは、決まった答えのない課題にチャレンジし、言葉や文化、専門分野を超えて、さまざまな人々と協力しながら、新しい価値を生み出していく人々のことです。私たちは金沢工業大学と連携しながら、国連に加盟する世界193カ国が同意したSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の17の目標を念頭におき、地域の課題や地球規模の課題解決に貢献できる人材を育成します。

A global innovator looks for creative solutions to complex challenges, transcending the boundaries of language, culture, and academic fields to collaborate with others and create new value in the world. ICT and KIT foster leaders who, mindful of the Sustainable Development Goals (SDGs) agreed upon by the 193 countries of the United Nations, contribute to solving regional and global problems.

KIT | ICT



国際高専2025 In Sight

ICT 2025 In Sight

国際高等専門学校は、我が国の先駆となる理工学教育を着実に成功へと導き、KITスクールシステムを基盤とし更なる発展を遂げることを目的に「国際高専 2025 In Sight」を策定しました。私たちは、この「国際高専 2025 In Sight」に示す計画の達成をめざし、グローバルイノベーター育成のための教育を実施し、将来にわたり無くてはならない学校と成ることを目指します。

We have set the objectives of this "ICT 2025 In Sight" in order to move steadily toward leadership in science and engineering education in Japan and achieve further development based on the KIT School System. Aiming to accomplish the goals set forth here, we will educate global innovators and strive to make our school indispensable for the future.

グローバル イノベーターの育成

To educate leaders of
global innovation

1 リーダーシップコンピテンシーを育成

To enhance leadership competencies

2 理工系リベラルアーツ教育を実践

To instill the "liberal arts of science and technology"

3 グローバル教育の発展

To evolve our globally-oriented education

4 KITスクールシステムの確立

To establish the KIT School System

5 ラーニングコミュニティの形成

To create the best learning community

国際高専2025
In Sightの詳細は
Please check our
website for details



国際高専についての詳細、最新情報はWEBサイトでご確認ください

Please check our website for details and the latest information



WEBサイトではニュースやイベント情報のほか、国際高専の教育やキャンパスの詳細を掲載しています。動画のコンテンツも準備しています。教員や学生による記事からはイキイキとしたキャンパスの様子が伝わってきます。

Our website provides details about the education and campus, as well as news and event information of ICT. We are also preparing video content. The state of the lively campus is transmitted from articles by teachers and students.



SNSもチェックしよう!
Check us out on social media



アクセス Access



鉄道 By Train (to Kanazawa Sta.)

東京→金沢 From Tokyo	約2時間30分 about 2 hours 30 minutes
大宮→金沢 From Omiya	約2時間5分 about 2 hours 5 minutes
高崎→金沢 From Takasaki	約2時間 about 2 hours
長野→金沢 From Nagano	約1時間5分 about 1 hour 5 minutes
大阪→金沢 From Osaka	約2時間35分 about 2 hours 35 minutes
名古屋→金沢 From Nagoya	約2時間30分 about 2 hours 30 minutes

飛行機 By Air (to Komatsu Airport)

札幌→小松 From Sapporo	1便/日 95分 1 flight per day 95 minutes
仙台→小松 From Sendai	2便/日 65分 2 flights per day 65 minutes
羽田→小松 From Haneda	10便/日 60分 10 flights per day 60 minutes
成田→小松 From Narita	1便/日 75分 1 flight per day 75 minutes
福岡→小松 From Fukuoka	4便/日 80分 4 flights per day 80 minutes
那覇→小松 From Naha	1便/日 130分 1 flight per day 130 minutes
ソウル→小松 From Seoul	3便/週 3 flights per week
上海→小松 From Shanghai	4便/週 4 flights per week
台北→小松 From Taipei	1便/日 1 flight per day
香港→小松 From Hong Kong	2便/週 2 flights per week

2020.2現在 As of 02/2020

変更となる場合がありますので、
詳細は小松空港WEBサイト及びJR WEBサイトをご覧ください。
All trains and flights mentioned above are subject to change.
Please confirm schedule on the Komatsu Airport and JR website.

金沢駅から
車で約1時間
小松空港から
車で約45分
1 hour by car from
Kanazawa Sta.
45 minutes by car from
Komatsu Airport



扇が丘キャンパス Ohgigaoka Campus やつかほリサーチキャンパス Yatsukaho Research Campus
金沢キャンパス Kanazawa Campus 白山麓キャンパス Hakusanroku Campus

白山の四季 Four seasons of Mt. Hakusan



キャンパス見学のご案内

国際高専では、随時、キャンパス見学を受付しています。お申込み・お問合せは、お電話いただくか、ホームページの「見学申込」フォームをご利用ください。日程等について、折り返しご連絡させていただきます。◆電話予約受付 電話 076-248-1080 月曜～金曜 9:00～17:00
We welcome you to visit our campus. Apply for a campus tour online or by telephone.
TEL.076-248-1080 Office Hour: 9:00 am-5:00 pm Mon-Fri

東京虎ノ門キャンパスへもお気軽にお問い合わせください。東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル11F TEL.03-5777-2243
Feel free to contact our Tokyo Toranomon Campus as well. Atago Toyo Bldg. 11F 1-3-4 Atago, Minato-ku, Tokyo, 105-0002 TEL.03-5777-2243

ICT Leadership Award Scholarship System

ICT supports student's innovation to create a world where "no one is left behind"

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



The SDGs (Sustainable Development Goals) are 17 goals to transform the world agreed upon by all members of the United Nations. At ICT(International College of Technology) and KIT(Kanazawa Institute of Technology) we are carrying out social implementation projects which link local, everyday issues with the global challenges identified in these goals. The Leadership Award Scholarships were created to support students who show exceptional leadership in carrying out these projects.



*KIT is Japan's leading educational institution pursuing SDGs, and received the Chief Cabinet Secretary Award of the first "Japan SDGs Award Presentation" on December 26, 2017.

With our mission to educate global innovators, ICT supports students who show leadership in a wide range endeavors with four "ICT Leadership Award Scholarship" programs.

1 Golden Eagle Scholarship

Overview : Granted to students who show leadership, deep understanding toward a sustainable world, and eager participation in solving issues in society.

Quota : 2 students

Evaluation criteria : Course grades during 1st and 2nd year
Participation in SDGs Startup Program
Active leadership
Public presentation of personal growth

Amount : 1,400,000 yen

2 CWIE International COOP Education Scholarship

Overview : Granted to students who participate in International COOP programs such as overseas internships and international conferences based on CWIE*1 (collaboration education with industry).

Quota : 2 students

Evaluation criteria : Course grades of previous years
Understanding of CWIE Participation in overseas corporation internships

Amount : 300,000 yen

*1 Cooperative and Work-Integrated Education for Innovation Minds

3 Gold Scholarship

Overview : Granted to students who show outstanding leadership in and out of school.

Quota : 5 students

Evaluation criteria : Grades of all courses
Participation in various projects and activities in and out of school
Active leadership
Public presentation of personal growth

Amount : 300,000 yen

4 Silver Scholarship

Overview : Granted to students who show outstanding leadership in and out of school.

Quota : 5 students

Evaluation criteria : Grades of all courses
Participation in various projects and activities in and out of school
Active leadership
Public presentation of personal growth

Amount : 250,000 yen

Method of payment

Golden Eagle Scholarship

Applied as part of tuition fee for Otago Polytechnic in New Zealand.

Gold Scholarship/Silver Scholarship

Applied as part of following year's tuition. Fifth-year students' scholarship is applied as part tuition for after transferring to Kanazawa Institute of Technology.

CWIE International COOP Education Scholarship

Applied as tuition fee for international COOP education destination.

1. The Golden Eagle Scholarship and Gold/Silver Scholarship may be awarded in combination.
2. The CWIE International COOP Education Scholarship may be awarded in combination with either the Gold or Silver Award.

3. The Gold and Silver awards are not awarded in combination.
4. Students who take Coop Project may be eligible for CWIE International Coop Education Scholarship.

International College of Technology, Kanazawa

Department and Number of Students to Be Accepted

Department of Science and Technology 45 Students

Examination Schedule

	Application period	Examination date	Venues	Announcement of results	Admission procedure deadline
Global Admission	Jun.15 (Mon)– Oct.8 (Thu), 2020	Set separately	Set separately (Japan and overseas)	Set separately	Set separately
Admission for Japanese who Have Studied at Overseas Schools	Nov.9 (Mon)– Nov.19 (Thu), 2020	Dec.5 (Sat), 2020	Kanazawa, Tokyo, Osaka	3:00pm, Dec.10 (Thu), 2020	Dec.22 (Tue), 2020
General Admission A	Jan.7 (Thu)– Jan.14 (Thu), 2021	Jan.23 (Sat), 2021	Kanazawa, Tokyo, Osaka	3:00pm, Feb. 4 (Thu), 2021	Feb.18 (Thu), 2021
General Admission B	Jan.26 (Tue)– Feb.5 (Fri), 2021	Feb.13 (Sat), 2021	Kanazawa, Tokyo, Osaka	3:00pm, Feb.18 (Thu), 2021	Mar.4 (Thu), 2021
Admission Based on Self-Recommendation	Jan.26 (Tue)– Feb.5 (Fri), 2021	Feb.13 (Sat), 2021	Kanazawa, Tokyo, Osaka	3:00pm, Feb.18 (Thu), 2021	Mar.4 (Thu), 2021

Applicants to Global Admission, please contact the Admission Center before applying.

Examination Fee 15,000 yen

Admission Fee 200,000 yen

Tuition Payment

(1) Tuition

	First semester	Second semester	Total annual fee	Remarks
1st year	1,500,000 yen	1,500,000 yen	3,000,000 yen	<ul style="list-style-type: none"> Tuition for one year 1,516,000 yen (including Learning Session) Educational materials fees for one year 308,000 yen (including textbooks, additional material, PC, training wear, etc.) Residence fees for one year 1,176,000 yen (including meals for 300 days, room, utilities, cleaning, bed sheets, etc.)
2nd year	1,500,000 yen	1,500,000 yen	3,000,000 yen	
3rd year	125,000 yen	125,000 yen	250,000 yen	
4th year	800,000 yen	800,000 yen	1,600,000 yen	
5th year	800,000 yen	800,000 yen	1,600,000 yen	

* National tuition support is available depending on household income.

* 4th- and 5th-year fees do not include housing or meals.

(2) Fees for study abroad to be paid by

3rd-year students attending Otago Polytechnic, New Zealand are as follows:

(The exchange rate in 2022 is calculated at NZ\$1.00 = 90.00 yen)

	Amount	Description
3rd year Otago Polytechnic tuition	1,700,000 yen	<ol style="list-style-type: none"> Tuition determined in December 2022 by Otago Polytechnic in accordance with New Zealand regulations. The tuition for Otago Polytechnic must be paid in a lump sum in December 2022.
Home stay charge	1,050,000 yen	<ol style="list-style-type: none"> Home stay charge. Extracurricular activities, insurance for sickness, injury, compensation for damage, etc. The above fees must be paid in a lump sum in December 2022.

The above amounts do not include travel expenses.

(3) Additional fees (annual)

Parent Association fee : 20,400 yen
 Student Association fee: 9,600 yen
 Alumni Association fee: 6,000 yen

Please check the Application Guide for Admission on our website for further information.

Dormitory



Each dormitory is divided into six-person living units. Six first- and second-year students reside in each unit and learn to collaborate effectively in a healthy atmosphere with people of various backgrounds.



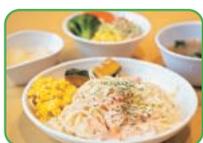
Golden Eagle Cafeteria



Breakfast, lunch, dinner, and light snacks are served. Meals are self-served cafeteria style. The menu changes daily, and students experience a wide range of western, Japanese, and ethnic foods.



Morning



Lunch



Dinner

One day in Hakusanroku Campus

7:30 Breakfast



Meals are served at the Golden Eagle Cafeteria.

8:30 Go to class



The dormitories and school building are connected by a roofed passageway.

8:40-10:20 First period

10:30-12:10 Second period

12:10 Lunch

1:00-2:40 Third period



All classes are taught using Active Learning to encourage student participation.

2:50-4:30 Fourth period

4:30 Free time

6:30 Dinner



Students teaching each other.

7:30-9:30 Evening school (Learning Session)

9:30 Free time

11:00 Lights out



ICT students can use the hot spring for free.



Many students play sports, use the training room, or play board games with each other during their free time.



Hakusanroku Journal

Updated everyweek!

Read new entries from residents at the Hakusanroku campus.



Hakusanroku Campus

The first- and second-year students study at our Hakusanroku campus boarding school, where students, teachers and staff live, learn, and participate in extracurricular activities together. There is the evening school (Learning Session) from 7:30 – 9:30 pm.

KIT Innovation Hub
Research and training in collaboration with the local community and industry

KIT Institute for Regional Revitalization and Innovation

Energy Center
Experimental site for micro-grid energy management

Student Dormitories

Hot Spring
Open to the community

ICT Building

Gymnasium

The most advanced Technology on campus

KIT Institute for Regional Revitalization and Innovation

Locally-produced and locally-consumed renewable energy using local wood chips as biomass boiler fuel to produce electricity

A strawberry factory-farm developed with an industry partner utilizes 5G and greenhouse-gas free technology; aiming for a new model of regional revitalization.

A place for interacting with others



A creative learning environment



A site of active learning and interaction



Students can immediately make prototypes and evaluate their designs with their classmates



The bright and spacious gymnasium is used for physical education and local community events. There is a training room on the second floor.



Extracurricular Activities

Take on a variety of challenges, including the activities sponsored by the Nature & Adventure Club, the Language & Culture Club, and the Design & Fabrication Club.

- **Nature & Adventure Club**
Activities in nature such as camping and hiking.
- **Language & Culture Club**
Experience cultures all around the world.
- **Design & Fabrication Club**
Participate in various engineering contests and design projects.

In addition, there are countless opportunities to run events, work as a volunteer, or participate in local activities in Hakusanroku.



Engineering Contest



Hakusanroku's nature is your playground!

Special classes

Various professionals and Kanazawa Institute of Technology faculty in fields such as art, AI, and biotechnology teach at the Hakusanroku campus. We have extracurricular activities in which we invite professional forerunners of various fields as instructors to teach the latest technology or take part in performing arts.



Evening School

There are learning sessions from 7:30pm to 9:30pm every weekday from Monday to Friday. This is very important extracurricular study which all students are required to do in order to make sure they understand the lessons and participate in classes with a positive attitude.

Of course, teachers are present at the night school. However, the study is not an extension of classroom lessons. Students learn and teach as part of a team, and the teachers support them.

Since the lessons are carried out in English, language support is provided as needed. In addition, there are engineering design activities and team activities that students can participate in voluntarily and independently.



Collaboration with KIT (Kanazawa Institute of Technology)

Joint education that transcends the boundaries of generations, academic fields, and cultures

In the fourth and fifth years, conduct research and project activities in collaboration with KIT students. We will practice joint education that transcends the boundaries of generations, academic fields and cultures, based on Project Design education. We will realize an active, open, inquiry, research campus, which will foster students' ability to play an active role in the world. Students will engage in intellectual, creative activities to realize their dreams and visions. After graduation, students can transfer to the third-year of Kanazawa Institute of Technology and continue onto graduate school to participate in state-of-the-art innovation projects in an advanced research environment.



ICT-KIT Cluster Research Labs



Voice

Working alongside university-level lab members stimulated me to aim higher.

In the "ICT-KIT Cluster Research Labs", ICT students collaborate with university students in the Kanazawa Institute of Technology Cluster Research Labs to work on graduation projects. My graduation project is titled "Creating a Simulator for a Token Economy in Hakusanroku". It involves hypothetically implementing a token economy (an economic zone using virtual currency) and measuring its effects. There were university members in the lab who knew more about this topic, which stimulated me to try harder. I believe the ability to study alongside university students and transfer to university and graduate school is a strength unique to ICT.



Graduate (Kanazawa Institute of Technology Third-year)
Kazuyuki Fukuda



STEAM Education

"STEM Education" is an education model for science and technology create in the USA in the 2000s. It integrates the study of science, technology, engineering, and mathematics. Lately, "STEAM Education" with the addition of the arts is gathering attention. STEM Education in English is one of our foundations for education here at ICT. The knowledge learned in these classes will be utilized in Engineering Design education and extracurricular activities. This promotes better understanding of how the knowledge and skills are used in practice.



Study STEM (science, technology, engineering, math) in English

Scientific and technical thinking is developed through an integrated STEM education in English. First-year classes are taught by teams of English- and Japanese-speaking teachers. Bridge English introduces technical and scientific terminology and supports the study of STEM in English. In the fourth and fifth years, more advanced STEAM education is offered in collaboration with KIT.



Art Courses: Enhance Creativity and Character

Students become insightful members of global society by studying art and culture to gain a wide perspective, sensitivity, rich creativity, and the ability to express themselves. By interacting with people of various cultural backgrounds and technological fields, students will expand their skills in communication and cooperation.



Voice

I could challenge myself with many different projects

At the Hakusanroku campus, I cooperated with my classmates to finish my homework and work on projects. It was a rewarding two years. The international teachers are friendly and I could learn many things from them. English has always been one of my strengths, but living in an English speaking environment has further improved my listening and speaking skills. Also, opportunities to interact with the local community and people from overseas, and participate in various projects has become an excellent experience.



Yujin Sagishima
3rd Year
Graduated from Hiroo Gakuen Junior High School



3rd Year Practice your skills in New Zealand

In their 3rd year, all students will join students from around the world to study at Otago Polytechnic in Dunedin, New Zealand. They will stay at homes of local families and participate in various programs such as internships and projects.



Engineering Design Education

As the core of education at ICT, engineering design education makes students realize the importance of knowledge, technology and competence.

- Fundamental and practical skills in hardware production
- Fundamental and practical skills in software production
- Seminars on computer basics
- Seminars on design thinking and problem identifying/solving process
- Group discussions
- Engineer Ethics

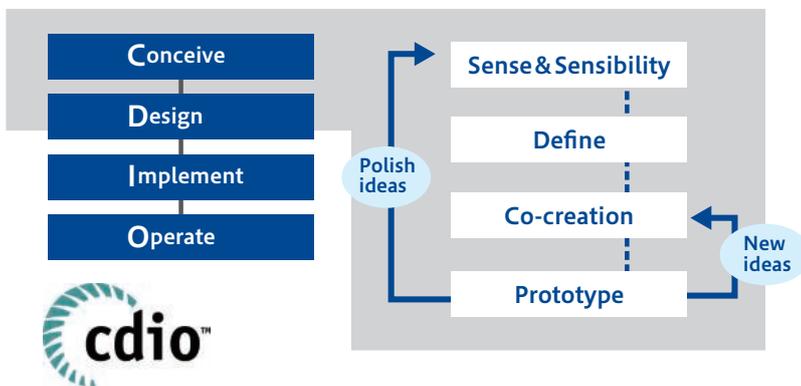
Using the basic skills listed above as a foundation, we advance from simple themes to more advanced and complicated topics. Through identifying and solving problems in collaboration with the local community and industry, students gain intelligence in science and engineering.



CDIO & Design Thinking

ICT is a member of the CDIO Initiative, an international consortium of institutions of higher learning to promote best practices in engineering education, balancing engineering science, engineering practice, and engineering in context of society and industry. CDIO stands for "Conceive", "Design", "Implement", and "Operate," the key phrases of engineering practice. ICT was the first school in Japan to join the CDIO Initiative, which today includes more than 140 institutions around the world, including MIT and Stanford University.

In Engineering Design, students tackle problem-solving activities using Design Thinking, a set of approaches to create value using input from a user's perspective.



ICT focuses stages strengthening "Conceive" and "Design" by implementing Design Thinking methods such as ideation creation/integration groupwork. Design Thinking is an approach to innovative problem-solving that involves envisioning users, thinking about their problems and needs, coming up with ideas for responding to them, putting the ideas into practice, and improving them through experiment and verification.

Voice

Make what you want to make

I went to school in Malaysia from sixth to ninth grade. I like ICT because I can challenge myself to make many different things. In the Engineering Design class, we created a machine to help elderly people. As a personal project, I made coasters for the campus's *onsen* facility. I designed and cut the material using the school's laser cutter. I'm glad they liked it. My club participates in the Robot Contest tournaments. There are so many things I want to do every day. I'm so busy.



Shuntaro Sato
2nd Year
Graduated from
Yaguchi
Junior High School



Example of Engineering Design Class Use biomimicry to create a toy to surprise adults.



Education of ICT

By combining ICT (five years) and Kanazawa Institute of Technology undergraduate and graduate school (four years), we create an integrated 9-year education program to foster global innovators. The setting for learning changes as students advance through the program.

1st and 2nd Years

- A diverse learning community
- STEM in English
- Design Thinking in English

Hakusanroku Campus Learn basics in English

Gain qualities of a global leader in a fully-residential community



3rd Year

- Improve your English with a homestay family
- Choose specialized courses of your interest
- Internship or project

New Zealand Study alongside students from all over the world

One year abroad at Otago Polytechnic



4th and 5th Years

- Collaboration with Kanazawa Institute of Technology
- Independent projects
- Co-creation education that transcends generations, academic fields, and cultures

Kanazawa Campus Take more advanced courses in your specialized field

Pursue your studies and research along with university students in Cluster Research Labs



University

- Transfer to Kanazawa Institute of Technology third-year
- State-of-the-art innovation projects
- Continue your research at graduate school

KIT Undergraduate / Graduate School Become a true Global Innovator

Deepen your professional field in undergraduate and graduate school



Your Goal : To Become a Global Innovator

ICT defines global innovators as individuals who not only possess advanced engineering skills, knowledge, and insight, but also use creative solutions to find opportunities to create new value. In addition, global innovators are professionals who collaborate with other specialists from various fields, respect different cultures and values, and possess skills to create a new wave of innovation for the realization of a better world.



Lewis Barksdale
President
International College of Technology,
Kanazawa

Fostering Leaders of Global Innovation

International College of Technology, Kanazawa is a completely new school devoted to the education of global innovators who can create value in a rapidly changing society. We focus on teaching the fundamentals of STEAM in collaboration with Kanazawa Institute of Technology, and developing good character and leadership through the world standard CDIO educational process. KIT's science and engineering education is highly advanced; ICT collaborates with KIT to create a high-level educational system that produces new leaders for our future society.

As the students advance from year to year and move from campus to campus they can tackle increasingly complex challenges in each environment. In their first and second years, students stay at the fully residential Hakusanroku campus. Here they collaborate with the local community and industry surrounded by the beautiful nature of the Hakusan foothills, participating in programs focused on SDGs (Sustainable Development Goals set by the United Nations). The next two stages—the third year in New Zealand followed by fourth and fifth years at Kanazawa Campus—provide them with the ideal environment for each step of personal development.

ICT admits students from throughout Japan and overseas, and provides an opportunity for students to grow in a stimulating global environment. We welcome you to join us in our quest to create new value for the world.

Department of Science and Technology

Learning in growing fields that create future society

Our society's future is uncertain due to complex issues such as globalization in the economy and industry, low birth rate, aging population, decreasing labor force, natural disasters, and environmental problems. There is a need for innovative solutions in all of these areas.

To meet these social needs, students in the Department of Science and Technology acquire design skills for characterizing and solving problems.

They also learn basic skills and knowledge of software and hardware in growing fields such as AI, IoT, and robotics. This fosters the development of professional engineers who create sustainable global future.



Let's enjoy learning and making things together

Professor
Chair
Department of Science and Technology
Omihito Matsushita



"Engineering Design" is the core of the ICT curriculum. Students use design thinking to solve open-ended problems in teams. They deepen their understanding of the user's point of view to generate solutions while gaining "monozukuri" skills, IT skills, and insight into the complex ethical issues involved in science and engineering within society and the environment.

Don't be afraid to make mistakes. Let's take on challenges together to learn and create.

Your Goal : To Become a Global Innovator

International College of Technology, Kanazawa

School Guide 2021

STEAM Education

STEAM education for becoming a global innovator



Design Thinking

Create new value by studying the user's perspective

Be Global



Boarding School

Live on campus in a beautiful natural setting



SDGs

Change the world through Sustainable Development Goals (SDGs)

Study Abroad

Study abroad in New Zealand in your third year



ICT

International College of Technology, Kanazawa

Kanazawa Campus 2-270 Hisayasu, Kanazawa, Ishikawa 921-8601
Hakusanroku Campus 3-1 Seto Tatsu, Hakusan, Ishikawa 920-2331
www.ict-kanazawa.ac.jp

